



自分の「道」を、一歩ずつ

副校長 橋本 晓

私が教師になって10年目の卒業式で、保護者の方からいただいた詩をご紹介します。

「あなたの道を見つけましょう」

時には長い道があり 時には短い道があり

時には良い道があり 時には悪い道があり

時には優しい道があり 時には難しい道があります

道にはいろいろな道があります

みなさんは、どの道を進んでいきますか。

時間をかけて、ゆっくり考えて

自分にとって一番いい道を見つけ、進んでいきましょう

そして、どこまでも進んでいくのです。



これからの時代は、グローバル化・情報化の進展や科学技術などの急速な進展により予測不可能な時代といわれています。我々は、この時代を力強く生き、未来社会を創る子供たちを育成しなければなりません。では、私たちは今、目の前の子供たちが自ら道を選び取れるよう、どのように関わっていけばよいのでしょうか。私は、その答えがこの詩の『寄り添い方』にあると考えています。

正解のない問い合わせに向き合う姿を支える

日々の生活の中で、子供たちの目の前には、様々な「分かれ道」が現れます。「どの道が自分にとって正しいか?」「どの道が一番楽だろうか?」などと迷うこともあるかもしれません。しかし、子供たちが真剣に考え、選んだことはその子なりの「最適解」です。周りの人と比べることなく、自分自身で「この道を進もう」と納得して進んでほしいです。

自分のペースで、自分らしく

詩の中にあるように、道には「難しい道」もあれば「悪い道」もあります。上手くいかなくて立ち止まったり、少し戻ってみたりすることもあるでしょう。でも、それは決して失敗ではありません。

○ゆっくりで大丈夫： 焦って誰かの後を追う必要はありません。

○自分の心に聞く： 自分がワクワクすること、大切にしたいことは何かを考えましょう。

○あきらめずに進む： 一度決めたら、一歩ずつ、前を向いて歩みを進めてください。

保護者の皆様、地域の方々、子供たちが自分なりの「一番いい道」を見つけようとしている時、どうか温かく見守り、背中を押してあげてください。私たち教職員も、本校の教育理念「みんなが笑顔」を大切に、子供たちが安心して自分らしく、自信を持って一歩を踏み出せるよう寄り添い歩んでまいります。笑顔あふれる学校生活の中で、子供たちがそれぞれの素晴らしい道を見つけていくことを願っています。